

令和3年1月7日、品質を極める深冷処理技術、Hyper Sub-zero Treatment(SE)を発表！

当研究所と熱処理専門会社である八田工業（大阪府堺市）は独自の超サブゼロ処理である『ハイパー・サブゼロ・トリートメント（Hyper Sub-zero Treatment）』を開発しました。この技術は非常にデリケートなオーディオパーツの音質向上を目的に従来から当研究所が採用してきた超サブゼロ処理技術「エグゼレントクライオ処理」を進化させたものです。

Hyper Sub-zero Treatment(SE)はHyper Sub-zero Treatment(Excellent)を基本設計として、さらに新たな物性処理（Scientific Effect）を施工した技術です。向後、当研究所の製品開発に活用してまいります。

サブゼロ処理研究所（Cryogenics Treatment Laboratory） 所長；筒井 浩

【当研究所の3つの深冷処理技術】

- 1.Hyper Sub-zero Treatment(BASIC) 24時間の処理工程
- 2.Hyper Sub-zero Treatment(Excellent) 48時間の処理工程
- 3.Hyper Sub-zero Treatment(SE) 48時間の処理工程 + 物性処理（Scientific Effect）

※「Hyper Sub-zero Treatment」ハイパー・サブゼロ・トリートメントは登録商標です。

- ・施工施設；八田工業株式会社
- ・サブゼロ処理制御装置によるガス雰囲気法（ガス法）
- ・コンピュータによる温度及び工程管理
- ・設定冷却温度； -100°C ～ -150°C